

SWANStor[®]

導入事例

大鵬薬品工業株式会社 様



大鵬薬品工業株式会社
情報システム部
福山昭彦 様



「**ファイアーウォールの設定変更が無い** ことと、
見せたいアプリをピンポイントで配信できる ことが
SWANStor を採用した理由です。
10 年以上利用してきた製品の信頼性と運用実績により、この度
SWANStor Gateway のホスティング も依頼することになりました」

大鵬薬品工業株式会社様では、臨床試験のプロセスで得られた医薬品の副作用に関する情報を「安全性情報管理システム」に蓄積してありますが、SWANStor を採用することで、その情報を世界中からセキュアに共有するシステムの構築を実現しました。SWANStor の導入の経緯と効果について、大鵬薬品工業株式会社 情報システム部 福山昭彦 様にお話を伺いました。



私たちは人びとの健康を高め
満ち足りた笑顔あふれる
社会づくりに貢献します。

画期的な新薬を心待ちにする、
世界中の患者さん、医療関係者の
勇気となり、力となるために。

病を克服するために薬に希望を託す患者さん、ご家族。患者さんのために最善の治療を模索する医療関係者。その思いを一つに病と闘う力となり、勇気となるために。大鵬薬品は、価値の高い新薬を創製し、患者さん、医療現場にお届けすることで、世界中の人びとの笑顔と健康に貢献してまいります。

リモートアクセスツール 導入の経緯

まず、リモートアクセスツールを導入した背景を教えてください。

当社では、臨床試験のプロセスで得られた医薬品の副作用に関する情報を、社内の「安全性情報管理システム」に蓄積しています。

臨床試験とは、新しく開発した医薬品が安全かどうか、また症状に対して有効であるかどうかを確認するために、治療を兼ねて行われるテストのことです。

当社では、医薬品開発における臨床試験を世界中に点在する CRO（Contract Research Organization：医薬品開発受託機関）に委託していますが、副作用情報を CRO がより安全に「安全性情報管理システム」に入力する手段が求められていました。

リモートアクセスツールを選ばれる際に最も重視したポイントは何でしょうか。

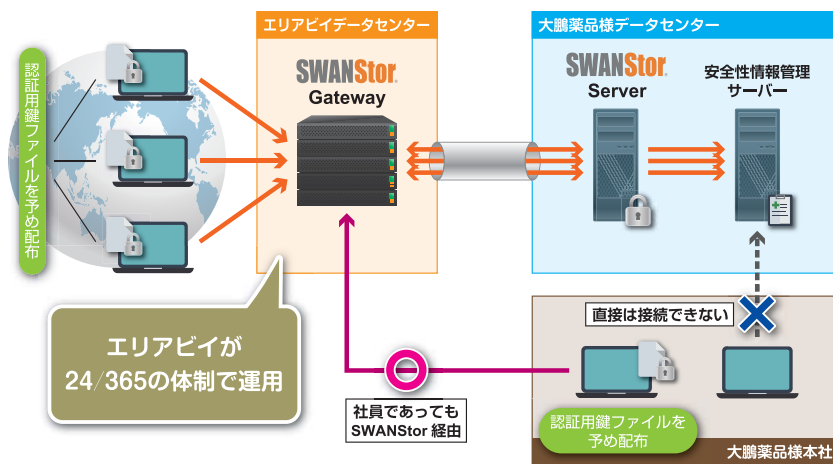
副作用情報は非常に機密性の高い情報です。「安全性情報管理システム」は Web システムですが、単純な基本認証だけでは不十分で、より強固な通信の暗号化や認証をはじめとするセキュリティが必要不可欠でした。

当社が必要とする高いセキュリティレベルを実現するためにいろいろな製品を比較検討した結果、SWANStor を採用することになりました。

SWANStor を選んだ理由① …「より高い安全性」

SWANStor を採用された理由は何でしょうか。

高度なネットワークセキュリティを実現するため、当社が調査を開始したのが 2004 年の頃でした。当時複数社の製品を比較検討しましたが、SWANStor は次の 2 点で他社より優れていると判断し、採用に至りました。



1. ファイアウォールの設定変更が無い

他社製品との大きな違いは、SWANStor はファイアウォールのインバウンドポートを開ける必要が無いということです。認証情報やアクセスログ等、機密性の高い情報は安全な LAN 上に格納されるため、より安全性が高くなります。

2. 見せたいアプリをピンポイントで配信できる

SWANStor は通常の VPN と異なり、業務に必要な情報のみユーザーにアクセスさせる事ができるため、より安全なネットワークの構築が実現可能です。

SWANStor を選んだ理由② …「高度な汎用性」

導入プロジェクトを進めていく途中で問題が発生したとお聞きしましたが、それは何だったのでしょうか。

当社の「安全性情報管理システム」は Web システムですが、導入プロジェクトを進め細部を調べて行くと、非常に複雑な作りと動作という事が解り、簡単には SWANStor と組み合わせる事ができないと解りました。サービスリリースが差し迫っていた中で、サービス開発現場は早急な対応を迫られました。

ここで、SWANStor の高い汎用性が活きました。詳細は省きますが、リモートデスクトップと組み合わせる事により、同システムの利用

が可能になりました。

その後「安全性情報管理システム」は 2 度バージョンアップされていますが、SWANStor は変更される事が無く、その高い汎用性をあらためて確認できました。

社員利用も SWANStor 経由 でセキュアに

導入いただいた SWANStor はどのように利用されていますか。

副作用情報を集計しレポート等を作成するために、社員も「安全性情報管理システム」にアクセスする事がありますが、例え社内に居る時であっても SWANStor 経由でアクセスする事になっています(一部システム管理者等を除く)。

機密性の高い情報を扱うため、従業員に対しても、決められた人物のみにアクセス権限が与えられ、決められた方法でしかアクセスできない仕組みが SWANStor で構築されています。

オンプレミスから ホスティングへの転換

この度、SWANStor Gateway をホスティングに変更されましたが、その理由は何でしょうか。

今までは SWANStor Gateway を当社のデータセンターに置き、自社で運用していましたが、ハードウェアの維持管理に手間と時間がかかるため、2014 年より SWANStor Gateway をホスティングし、エリアビジャパンで運用していただく事に変更しました。

多くの海外ユーザーが機密情報にアクセスする仕組みの運用を外部に委託する事は大きな決断でしたが、次の理由から委託を決定しました。

- SWANStor は導入以来、10 年以上ノートラブルだということ
- それまでのお付き合いの実績からエリアビジャパン社であれば委託することは問題ないということ。

インターネット上に存在する SWANStor Gateway の運用はそれなりに気を使ったり、工数が必要です。その運用をエリアビジャパンに委託する事により、運用にかかる工数と費用を削減する事ができました。

エリアビジャパンとは、 一緒に仕事がしやすい

エリアビジャパンの対応はいかがでしたか。

導入時やホスティング移行時のプロジェクトはシステム構築会社など、複数の企業が参加しました。そういったプロジェクトでは各社の足並みを揃えるのが難しい事が多々あるのですが、エリアビジャパンとの意思疎通は非常にスムーズで、フランクにお付き合いする事ができました。またレスポンスも早く、仕事が非常にやりやすかったため、結果色々な事を円滑に行う事ができました。

SWANStor は導入してからこれまで 10 年以上ノートラブルというのも、そういった「一緒に仕事がしやすい」ということが一役買っていると思います。

お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきましてありがとうございました。



エリアビジャパン株式会社

www.areabe.com

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-26 KDX 飯田橋ビル4F

E-mail. sales@areabe.com

TEL. 03-6758-0540(代表) / FAX. 03-6758-0541

● 本カタログに記載の内容は、2015年8月現在のものです。なお内容は予告なく変更する場合があります。
● 本カタログに記載の各社社名、製品名、ロゴデザインは、各社の登録商標あるいは商標です。

お問い合わせは